

平成17年4月27日

各位

株式会社ファルコバイオシステムズ
京都市中京区河原町通二条上る清水町346番地
代表取締役会長兼社長 赤澤 寛治
(コード番号: 4671 東証・大証各第二部)
問い合わせ先
取締役経理部長兼経営企画室長 安田 忠史
電話(075)257-8556

中間期業績予想の修正(連結・単独)に関するお知らせ

平成16年11月5日の決算発表時に公表しました平成17年9月期(平成16年9月21日～平成17年9月20日)の中間期業績予想(連結・単独)を、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 中間期業績予想値(連結)の修正について

(平成16年9月21日～平成17年3月20日)

(単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	中間純利益
前回発表予想(A) (平成16年11月5日発表)	13,100	500	220
今回修正予想(B)	13,400	680	320
増減額(B-A)	300	180	100
増減率(%)	2.3	36.0	45.5
(ご参考)前中間期実績 (平成16年9月期中間期)	11,088	646	259

2. 修正の理由(連結)

当中間期の売上高につきましては、国立病院等の新規受託や調剤薬局の新規出店などが概ね順調に推移したことに加え、花粉アレルギー関連が当初見込みを上回ったことなどにより、当初予想に比べ若干の増加となる見込みです。

一方、利益につきましては、当初の計画に比べて人件費をはじめとした販売管理費の削減に努めたこと及び花粉アレルギー関連の伸長が寄与したことなどにより、経常利益は当初予想に比べ180百万円増加の680百万円となり、中間純利益は100百万円増加の320百万円となる見込みです。

3. 中間期業績予想値（単独）の修正について
（平成 16 年 9 月 21 日～平成 17 年 3 月 20 日）

（単位：百万円、％）

	売 上 高	経常利益	中間純利益
前回発表予想（A） （平成 16 年 11 月 5 日発表）	9,000	350	170
今回修正予想（B）	9,150	540	270
増減額（B - A）	150	190	100
増減率（％）	1.7	54.3	58.8
（ご参考）前中間期実績 （平成 16 年 9 月期中間期）	8,744	519	225

4. 修正の理由（単独）

当中間期の売上高につきましては、国立病院等の新規受託などが概ね順調に推移したことに加え、花粉アレルギー検査の受託件数が当初見込みを上回ったことなどにより、当初予想に比べ若干の増加となる見込みです。

一方、利益につきましては、当初の計画に比べて人件費をはじめとした販売管理費の削減に努めたこと及び花粉アレルギー検査の伸長が寄与したことなどにより、経常利益は当初予想に比べ 190 百万円増加の 540 百万円となり、中間純利益は 100 百万円増加の 270 百万円となる見込みです。

5. 平成 17 年 9 月期の業績予想（連結・単独）
（平成 16 年 9 月 21 日～平成 17 年 9 月 20 日）

平成 17 年 1 月 24 日に公表いたしました有限会社飛騨臨床検査センターの子会社化及び平成 17 年 2 月 28 日に公表いたしましたファーマプロットグループ 3 社の子会社化、並びに花粉アレルギー関連が好調に推移していることによる影響などを現在精査中であり、中間決算発表時に公表いたします。

以 上